

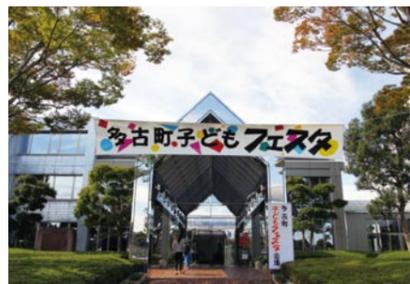
子どもたち、みんな集まれ!

天候に恵まれ秋晴れとなった10月23日、子ども会育成連絡協議会、青少年相談員連絡協議会主催による「子どもフェスタ」がコミュニティプラザで開催されました。子どもたちによる、子どもたちのためのイベントは今年で18回目を数え、すっかりおなじみとなりました。

この子どもフェスタは、小中高生合わせて64名のジュニアリーダーが、イベントの企画や準備はもちろん、当日の運営まで協力して行います。スタンプラリーやお化け屋敷、フリーマーケット、水ヨーヨーなど9つのコーナーが、来場者の子もたちを大いに楽しませました。楽しく、仲良く、友だちの輪を広げることができた1日となったことでしょう。



スーパーボールすくい



プラザ会場入口



フリーマーケット



切り絵

月からの使者



10月15日、町商店街起志回生の会主催による「お月見どろぼう」が開かれ、500名を超える親子連れが参加しました。「お月見どろぼう」は昔からの風習で、十五夜に限ってお月見のお供えを盗んでも良いという子どもたちにとって素晴らしいイベントでした。今年で5回目を迎えたこのイベントは、4つのコースに分かれた商店街でウォークラリーとハロウィーンと一緒に楽しめるようにアレンジされたものです。それぞれの商店を訪れた子どもたちは、合言葉をきちんと言えたご褒美にお菓子などのプレゼントをもらい、笑顔いっぱい歩く姿が印象的でした。



10月23日には、多古台地区でも今年で2回目となるハロウィーンが開催されました。参加者は思い思いの衣装をしてイベントを満喫していました。また、子どもたちを迎える大人たちの顔も自然とほころび、地域のつながりを感じさせてくれました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場企画空港政策課広報係
☎76-5409



多古米祭り ~ 2016 TAKOMAI Festival ~

第2弾 多古米グランプリ決勝大会

今年で5回目を迎える多古米グランプリが、今回初めて開催された「多古米祭り」の第2弾として、10月22日道の駅多古にて開催されました。

この取り組みは、消費者および食の専門家の多古米に対する意見や評価を生産者に対して還元し、今後の米作りに反映させ、多古米全体の品質向上を目的に始められました。

応募者は53名。今年も多く生産者が自慢の多古米コシヒカリを出品しました。事前に食味分析計を使用した食味値での予選審査を行い、上位8名がグランプリ決勝大会に進みました。同一条件のもとで炊飯された多古米コシヒカリ。特別審査員5名が「外観・香り・味・粘り・硬さ」の5項目の基準により実食審査を行いました。その結果、決勝進出者の中から見事グランプリを受賞したのは、萩原佐千穂さん（五反田:66歳）となりました。

「多古米祭り」をより一層盛り上げるために、道の駅でお買い上げいただいた方々には、綿あめ、多古米つかみどりや多古米プリンなどが振る舞われました。

また、来場者に多古米グランプリ決勝大会進出者のお米を実際に試食してもらい、優勝者を予想する企画も行われ、見事グランプリを的中させた10名には、なんと「多古米コシヒカリ30kg」がプレゼントされました。

そして、町の特産品の多古米、大和芋にゆかりのある「多古はちろう商店」「石井食品」「ねぎし」の各ブースも、祭りに花を添えていました。

多古町マスコットキャラクター「ふつくらたまこ」さんも、会場内を賑わせました。



グランプリの萩原さん



審査の様子



試食会の様子



縁日輪投げ